

自然の家だより

令和 2年
7月16日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地

Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 E-mail gishizen@he.mirai.ne.jp URL https://gikyobun.or.jp/gishizen/

みなさんの通学路には、右の写真の植物は生えていませんか？



これは、「オオバコ」といい、公園や街中でよく見られる野草です。

踏まれても枯れることなく、平気で生えてくる生命力の強さから、「踏み跡植物」とも呼ばれているそうです。

この生命力の強さには、どんな秘密があるのか詳しく見てみましょう。

道ばたに育つ オオバコの 4つのヒミツ

ヒミツ① 低い背丈

葉の様子を見てみると、タンポポのように地面すれすれに葉を出しています。

そのため、強風にも耐え、踏まれても倒れたり折れたりすることを防ぐことができます。



ヒミツ② 丈夫な5本のスジ

葉を引っ張ってみると、葉の中に太い5本のスジがあることがわかります。

このスジが、踏まれても葉がちぎれてしまうのを防いでいるのです。



葉の形

ヒミツ③ しなやかで丈夫な花茎

しなやかで丈夫なおかげで、踏まれても花茎がちぎれにくいのです。



*しなやかなため、茎と茎をひっかけ、引っ張り合う遊びが楽しめます。(オオバコ相撲)

花の様子

ヒミツ④ ネバナネバのタネ

種は雨に濡れると、表面がネバナネバになります。それを動物や人が踏むと種がくっついて遠くに運ばれ、数を増やすことができます。



実の様子

みなさんが何気なく歩いている道ばたには、オオバコのように力強く生きている植物がたくさんあります。ときには足を止めて、植物をじっくりと観察してみてくださいね。また、手に取って遊んでみるのも面白いと思います。